

平成 30 年 7 月 2 日
磯部千枝・柏田三千代

日本国際情報学会
第 6 回 愛知 (PH) 研究部会 勉強会 報告書

【日程】 平成 30 年 6 月 16 日 (土) 12:30~16:30

【場所】 赤坂 アークヒルズ

【参加者】 11 名

【内容】

懇親会 (昼食) 愛知 (PH) 研究部会 部会長 磯部千枝さんからの挨拶

発表 草野純子さん 「意識の次元上昇と前世療法について」
長原啓子さん 「モザイク国家カナダの Multiculturalism」 -Diversity & Inclusion-

日本国際情報学会 副会長 佐々木先生からの総括

【総評】

第 6 回愛知 (PH) 研究部会の勉強会は、部会長の磯部千枝さんによる今回初参加となる新メンバーの紹介から交流がはじまり、美味しい料理を堪能しながら和やかな雰囲気参加者が互いに近況報告を交えて懇親していました。

研究発表では、草野純子さん、長原啓子さんの 2 人が各々に体験を伴った研究成果を披露。

近年、心と体の治療を施しても魂の混乱が収まらない事例は医学的な問題とするよりもスピリチュアルな問題として扱うべきだとする考え方を背景に、ブライアン・L・ワイズ博士によるデモンストレーションやグループ退行催眠 (ヒプノセラピー) を交えた講演会に自ら参加した草野さんは、村井敬一氏による『前世療法 その歴史と現代的意義』の内容を主に哲学的考察をしながらクライアントへの有効性について探求を試みた経過について発表。潜在意識の奥底にある記憶やイメージについて、デカルトや近年の二元論の立場から、統合情報理論の観点から、意識とは何かについて考察し、フロイトからユングへの過程で人類が共有するもう一段深いところにある無意識 (潜在意識) としてつながりをもつ集合無意識と次元上昇との関係性に迫ろうとしていました。おわりに、前世療法は自分のカルマ (課題) を知るために、前世の記憶を知る、集合意識を知る、宇宙意識を知る上で次元上昇によるネガティブな感情から脱した 5 次元の状態にふれる方法のひとつとして潜在意識など無意識の領域へ誘うために有効であり、自分の課題を知ることでポジティブになり、自分の波動が上昇することで自分のケアをすることができる。ここから、よりよい生活につながるよう考えられるとまとめていました。

次に長原さんが編集・翻訳を手掛け今完成を迎えようとしている小説『Imperfect Mosaic』の著書 日系 4 世の著者トーマス・サワダ氏が育ち小説の舞台となるカナダ トロント郊外ノース・ヨークにあるアパートメントシティ「Flemingdon Park」は、第二次世界大戦時の移民受け入れ政策によって実験的に作られたコミュニティ。長原さんの発表は、この小説のため赴いた現地取材をもとに、カナダの Multi Culturalism (多文化主義) の現在に至るまでの姿を捉えながら、その後カナダ全土に影響を与えていくことになる

「Flemingdon Park」で行われていた教育法や diversity 授業について、さらに世界の多民族混住地域との相違について、取材時に撮影した「Canada Day」パレードの様相やジャスティン・トルドー首相のステイトメント映像を交えて自身の考察を展開していました。

まもなく出版される小説『Imperfect Mosaic』は、カナダの移民社会を内側から活写した貴重な証言でもあり、クラスの壁が取り払われた小学校では、祖国の文化に誇りを持ち、友達の文化も大切に教育が実践され、そのような素晴らしい教育を受けた移民の子供たちは、ネイティブ・イングリッシュを身につけて社会の第一線で活躍する人材に育っていることを伝える生きたテキストでもあろうことが感じ取れる発表でした。

最後に佐々木健先生からは、本日この場で議論して得られた知見や課題を皆さまがたの実生活での活動のなかで引き続き探求してください。そしてまた次の発表や議論のなかでその成果を伺えることを楽しみにしていますと総括され、一同次回に向けた研究に意識を高めたところで会を閉じました。



以上